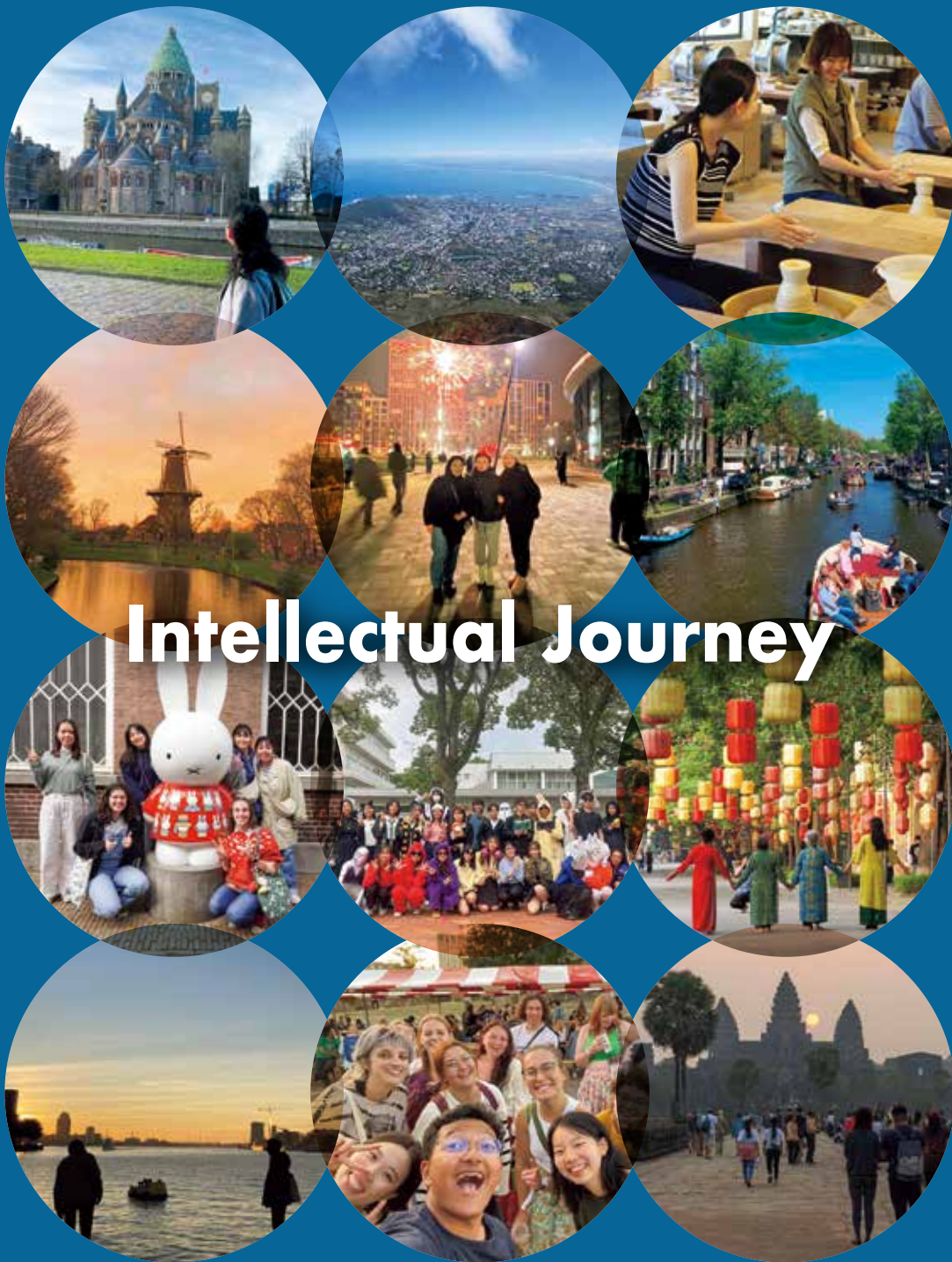


NAGASAKI UNIVERSITY



Intellectual Journey

SCHOOL OF GLOBAL HUMANITIES AND SOCIAL SCIENCES

The School of Global Humanities and Social Sciences at Nagasaki University was established in 2014 to train individuals to acquire the skills, judgment, sensitivity, and ability to take action as independent people who can thrive in the modern globalized world.

多文化社会学部 2025



地域の視点から世界を俯瞰し、 グローバルな視点から地域を考える、 人間性豊かな人材を育成します。

育成する人材像

グローバル化する世界において、人文社会系諸分野の幅広い知識を基礎として、社会的・文化的・言語的多様性の観点から、その意義を理解できる。

英語を中心とした高度な外国語運用能力を有し、グローバル化する世界の多文化状況において、円滑にコミュニケーションおよびプレゼンテーションを遂行できる。

多文化社会が抱える様々な課題や現象について、適切なデータ・史資料の収集・分析、課題の発見・整理、調査の企画や実行を行うことができる。

多様な人々と共生的な関係を築き、問題解決に向けて、パートナーシップやリーダーシップを発揮して行動できる。



未来の多文化社会に向けての知的航海 未来につなぐ人文学の〈知〉と社会科学の〈理〉

混迷か、融合か、衝突か、摩擦か、許容か、あるいは包摂か、私たちは「多文化社会」の未来に何を見られるのでしょうか。新型コロナウイルスの脅威をおおよそ全人類で共有し、地球の一体化を実感した後、世界の地域で戦争や紛争がやむことなく続いています。地球の一体化とは裏腹に世界は分断され、むしろ混迷をより深めていると言ってもいいでしょう。

人間の文化は多様であるゆえに豊かであり、それぞれの文化が融合し、さらに新たな展開を迎えていく。そうやって我々は豊かな文明を築いてきました。一方で異なる文化や文明が接触することで生じる摩擦熱を私たちは制御できていません。それは国家間レベルだけではなく、身近な社会のレベルでも起きています。豊かで理想的な多文化社会を築くには私たちはまだまだ未熟であると言わざるをえません。そのため、私たちはよりよく人間を学ばなくてはならないのです。

「人間は考える葦である」フランスの思想家パスカルの言葉です。自然のうちで最も弱い一本の葦にすぎないが、しかしそれは考える葦である。思考の大切さを説いたものと言われる。思考こそが人間の本質ということでしょう。

しかし、すでにもう人間は弱い「葦」ではありません。「人新世」という時代区分が提唱されています。地質時代の中に「人類の時代」を設定しようという考えです。もはや人間は核兵器を持ち出すまでもなく地球の環境そのものに多大な影響を与える強い存在

となっています。

その強さを正しく制御するために、科学技術の進歩以上に高度な思考を続けなければなりません。しかし、思考する役割においても、今や人間とAI(人工知能)の境界がとても曖昧になってきています。このままだと境界を越えて本質も侵食され、人間は思考の歩みを減速させてしまうかもしれません。人間とは何か、社会の役割は何か、改めて強く問われています。

多文化社会学部では、人間とその社会を知るために人文学の知と社会科学の理を学びます。国際公共政策、社会動態、共生文化、言語コミュニケーションの4コースに加え、オランダに特化したコースを持ち、さまざまな切り口と道すじで世界を学んでいます。

その学び方はさまざまです。ひたすら文献を読み込むこともあれば、フィールドの中に身を置くこともあります。あるいは徹底的に議論することも必要でしょう。そうした学びの作法と知識を身にまとい、英語を主とした言語という最も効率的な相互理解のツールを携えて、未来のよりよき多文化社会に向けて、知的な航海を始めるのです。

よりよく人間を理解し、多様性に対する包容力をもった人文系グローバル人材の輩出、それがこの国で唯一、多文化社会学の名前を冠したこの学部の使命と考えています。ともに学び、思考を深めて未来のよりよき多文化社会を築きましょう。



学部長 野上 建紀

2014年4月より長崎大学多文化社会学部へ赴任。2025年4月より多文化社会学部学部長へ。

専門は歴史考古学。
近世の陶磁器貿易に関心を持つ。



「ローカル」から「グローバル」を目指す

世界を学びのステージにする

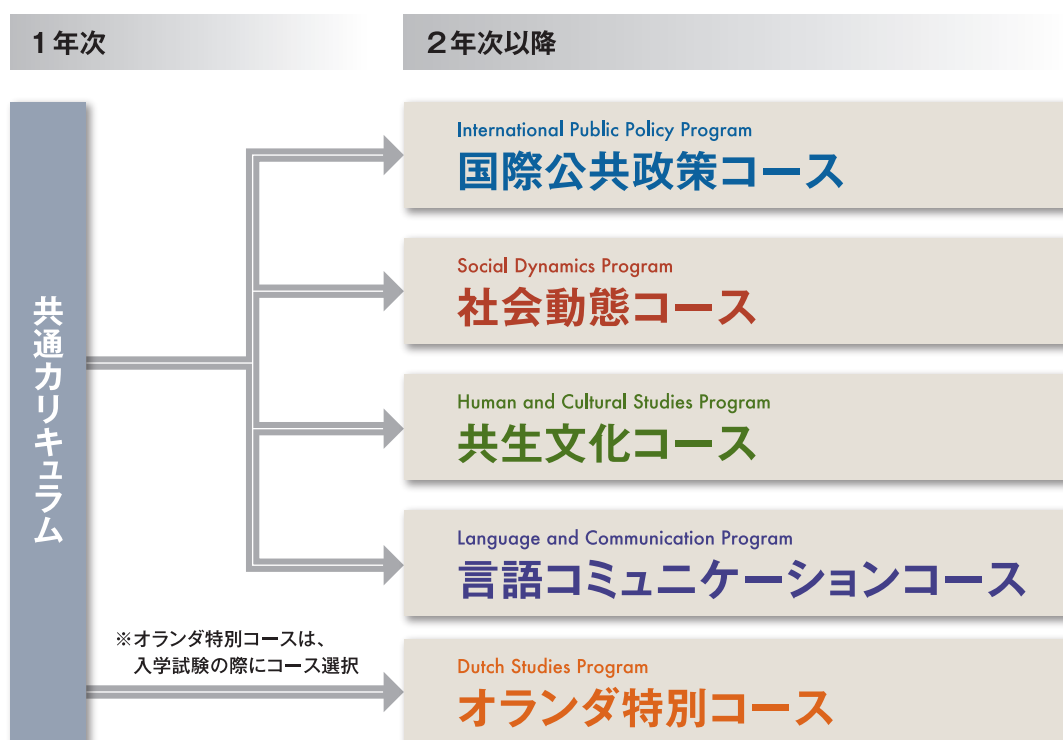
特色ある5つのコース

国際社会が抱える様々な課題を分析する国際公共政策コース、
人・モノの動きから世の中をとらえる社会動態コース、多様な文化の理解から共生を考える共生文化コース、
適切な言語運用の力を身につける言語コミュニケーションコース、
そして、オランダを切り口に現代の欧州を学ぶオランダ特別コースの5コースで構成されています。
自分が学びたいコースに進み、目標に向かってチャレンジしてください。

国際公共政策コース、社会動態コース、共生文化コース及び

言語コミュニケーションコースについては、1年次終了時にコースを決定します。

※指定された科目を修得した場合は、オランダ特別コースを選択することも可能



取得できる免許・資格

高等学校教諭 一種免許状 (英語)

言語コミュニケーションコースの学生に限り、教育職員免許状取得に必要な科目の単位を全て修得することで、卒業時に「高等学校教諭一種免許状(英語)」を取得することができます。ただし、3年次以降に中長期留学を行う場合、4年卒業での免許状の取得ができません(最低でも5年卒業)。

日本語教員 養成プログラム

多文化社会学部の日本語教員養成プログラムの所定の単位数を取得し卒業する場合、卒業時に修了証が交付され、登録日本語教員になるための日本語教員試験の基礎試験と実践研修が免除されます。このプログラムは、どのコースの学生でも履修可能ですが、言語コミュニケーションコースを選択した場合、最も円滑に履修できます。

Visit our
website
for details





沖縄県営平和祈念公園にて

International Public Policy Program

国際公共政策コース

国際社会で発生する様々な課題に
政治学・法学・経済学
などを通して取り組む

現代世界には、紛争や軍縮、人権侵害、貧困や開発、法の支配、保健・衛生など、国境を越えた複雑な政策課題があふれています。これらの難問の解決に挑む、グローバルな知識と実践的能力を備えた人材を育成します。

Student's Voice



**学術的・実務的な視点を
バランスよく学べる環境**

高橋 知裕 3年

宮崎県立宮崎南高等学校 出身

かつて特攻基地だった空港のある地域で生まれ育ち、様々な平和学習に取り組んできました。平和について考える上で国際政治をもっと勉強したいと考えるようになり、入学時から国際公共政策コースに強い関心がありました。「国際政治学」の講義では具体的な国同士の関係や理論について学習。国際情勢の背景にも目を向けられるようになりました。また国連や外務省などの組織で実際に働く方を招いた講義もあり、積極的に参加。文献や資料をもとにした学術的な視点とは異なる、現場の最前線の立場からの実務的な視点に触れられて、視野を広げることができました。いつかそうした方たちと肩を並べて活躍したいと憧れるようになり、現在は国家公務員を志望しています。

国際公共政策コースは目的や関心がハッキリした学生が多く、一緒に学び議論する中でとても刺激を受けられます。特に留学生と国際政治について話すと、価値観や考え方の違いを感じられて興味深いです。そして多彩な専門分野に精通した先生から指導を受けられるのも大きな魅力だと思います。



唐人屋敷跡にて

Social Dynamics Program

社会動態コース

現代社会のダイナミズムを
社会学・文化人類学・民俗学などの
知見を深めて読み解く

グローバル化した世界では、ある場所で発生した小さな変化が遠く離れた場所で思いもよぬ影響を及ぼすことがあります。このようなダイナミズム（動態）を、主にフィールドワークを通して読み解く能力を身につけます。

Student's Voice



**フィールドワークを通して
地域の魅力と課題を再発見**

野田 凜 4年

長崎県立長崎東高等学校 出身

生まれ育った長崎の観光や文化についてもっと知りたくて社会動態コースを選択。「文化資源論」の講義では、世界遺産など有名な観光地の歴史や歩み、地域の関わりについて具体的な事例とともに学べてとても新鮮でした。ゼミ活動のフィールドワークの一環として、潜伏キリシタン関連遺産のある長崎市外海地区での聞き取り調査を実施。現地に直接足を運ぶことで、座学だけでは分からない新たな発見がありました。卒業研究では地元の郷土芸能をテーマとして文献調査に取り組みながら、今後は聞き取り調査を重ねていきたいです。

もともと海外留学に興味があり、1年次の短期留学や海外インターンシップにも参加しました。異なる国の人と交流する中で、自分の生まれ育った国や地域に対する知識不足を実感。またフィールドワークを通して地域の魅力と課題を再発見したことなどから、将来は公務員として地元の長崎で活躍したいと考えられるようになりました。社会動態コースは幅広い分野に触れられるので、自分の方向性を探りながら学びを深めていくことができると思います。



Human and Cultural Studies Program

共生文化コース

共生社会の基礎となる文化の理解を
哲学・宗教学・文化研究・歴史学
などによって深める

思想・宗教・表象・メディア・歴史などの幅広い見識を身につけることで、多様な文化的背景をもつ人々が同じ空間に共生する現代社会において、その基盤となる文化についての理解を深めます。

Student's Voice



幅広い分野に触れながら
興味関心を掘り下げる

井上 夏希 4年

栄東高等学校 出身

幼少期に約1年間過ごしたアメリカに留学したかったことに加えて、もともと日本史への興味が強いこともあり共生文化コースを選択。高校までの歴史の授業では年号を暗記して大きな流れを俯瞰するような内容が中心でしたが、共生文化コースの講義では手紙や古文書といった具体的な史料を自分で読み解いていきます。長崎は古い史料が多く残されており、ゼミ活動の一環で出島や唐人屋敷に足を運ぶことも。先生や他のゼミ生と意見を交わす中で理解を深めることができました。

2年次の後半から念願の長期留学へ。留学先で受講した、地図情報をデータ化する地理情報システムについての学びが印象的で、卒業論文では日本の歴史的な史料をマッピングすることで新しい角度から読み解きたいと考えています。将来は大学院進学を目指しつつ、就職も視野に入れています。私は一つの専門分野に捉われず、いろんな可能性を追求したくて幅広いジャンルを学んできました。共生文化コースはそうした学生にもオススメで、自分なりの興味や関心を広げながら掘り下げられる環境だと思います。



Language and Communication Program

言語コミュニケーションコース

言語の個別性と普遍性および
言語と文化の関わりを
言語学の諸分野を通して幅広く学ぶ

英語・日本語を中心とした言語学、言語教育、コミュニケーション論を通じて、多文化社会における言語の個別性と普遍性および言語と文化の関わりを実践的に学びます。

Student's Voice



英単語の使い分けや表現を
実践しながら深く学ぶ

村木 萌花 4年

福岡大学附属若葉高等学校 出身

小さい頃からホストファミリーとして世界の子どもたちを受け入れてきた経験があり、国際交流には語学だけではなく文化の相互理解が必要だと感じていました。言語コミュニケーションコースは実践的な英語学習に加えて異文化間コミュニケーションについても学べるので、自分に最適なコースだと思い選択しました。「英語のしくみと意味」という講義では、高校までの英語の授業で習うような一般的な英単語の使い分けやニュアンスをより深く学ぶことができ、これまでの当たり前を覆される新鮮な内容でワクワクしました。座学で新しく学んだ知識はグループワークや留学生との会話ですぐに実践できて、うまく意味が通じた時は嬉しかったです。

就職活動は早い時期から取り組み始めて、希望していた会社から内定をいただくことができました。言語コミュニケーションコースでは講義や留学生との交流を通して、多種多様な文化や価値観を学び触れることができます。社会人として、一人ひとりのバックグラウンドを踏まえたコミュニケーションを大切にしていきたいです。



史跡「出島和蘭商館跡」にて

Dutch Studies Program

オランダ特別コース

オランダ語文化圏の理解を通して
世界・ヨーロッパ・日本
などについて多面的に学ぶ

オランダ語文化圏について、人文社会科学の様々な角度から学ぶ日本に唯一のコースです。オランダを出発点にヨーロッパや世界の状況、日本との関わりについて学ぶことで、国際的な視野をもった人材を育成します。

Student's Voice



個性的な仲間たちと学び 進路の可能性を広げる

加藤 柚貴乃 3年

北海道札幌月寒高等学校 出身

どちらもマイナーな言語を学んだ両親の影響で海外のひととの会話に興味を持ち、大学では新しい環境で新しい言語にチャレンジしてみたいと考えてオランダ特別コースを選びました。英語とオランダ語は共通点もある一方、発音や文法が大きく違い慣れるまで苦労しましたが、オランダ語ネイティブの先生が細かい部分も丁寧に教えてくださり上達しました。またライデン大学からのオランダ人留学生と交流する機会が豊富で、日本にいながら現地の方の言葉や文化に触れることができました。これからライデン大学に留学してさらにオランダ語のスキルを向上させるのはもちろん、日本で学んできたオランダの歴史や社会を改めて学び直して理解を深めたいです。

オランダ特別コースには、様々な地域から様々な目的を持った学生たちが集まっています。個性的な仲間たちと一緒に学び交流するのは本当に楽しく、このコースを選んでよかったと感じます。そして卒業後の進路の幅が広い分、自分自身の学びをどう活かすのか、いろんな可能性があると思います。

Leiden University

ライデン大学

オランダ特別コースの学生は、入学後多文化社会学部でオランダの言語、文化交流、歴史などを学びます。更に、3年次後期から1年間ライデン大学への長期留学が義務付けられ、専門性を深めていきます。

ライデン大学はオランダで最も古い大学であり(1575年設立)、デカルトやスピノザ、アインシュタインなど数多くの著名な学者が学びました(ノーベル賞受賞者16名)。世界で最初に日本学科が設立された大学でもあり、日本研究ではヨーロッパ屈指の歴史と研究実績を誇ります。現在でも人文社会科学の分野では世界的に高い評価を受けています(THE世界大学ランキング2025人文学科21位)。

また、ライデン大学の位置するライデン市はシーボルトのコレクションを展示した日本博物館が所在するなど、文化的刺激に満ちた街です。

Message

知らない世界に飛び込む 行動力が大切だと実感

上野 詩織 4年

大分県立大分上野丘高等学校 出身

最初はオランダ語の会話に不安がありましたが、ライデン大学の講義ではペアで話したりロールプレイをしたり、とにかく会話中心で学ぶ時間がしっかり確保されています。先生が「ミスに気にせず話しましょう」とアドバイスしてくださり前向きに実践。日常会話で不自由しないくらい上達しました。また講義以外の時間もオランダではいろんな意見を求められることが多く、以前より主体的に物事を考えるようになったと感じます。まとまった休日があるとよく旅行に出かけて、ヨーロッパを中心に10ヶ国滞在。せっかくの長期留学なので、いろんな周辺国を訪れて直接異なる文化に触れてみるのもオススメです。

4年間で卒業するために、留学と就職活動を並行して取り組んでいます。時差を考えながらスケジュールを組むのは大変ですが、1年間海外で学び、改めて日本で働きたいと考えるようになりました。留学期間中は知らない世界に自分から飛び込んで、人間関係を広げることが大切だと思います。

上野さん(右側)



言語を学ぶことで 異文化理解に繋がる

中山 寧々 4年

福岡県立久留米高等学校 出身

事前にオランダ特別コースの講義でオランダの社会や文化について学んでいたため、生活にはスムーズに慣れることができました。オランダ語の学習に取り組むことで、オランダ人の文化的背景や生活についての理解がより一層深まり、言語と文化の繋がりを実感。帰国後はホテルの受付でアルバイトを始めましたが、以前よりも英語やオランダ語で躊躇なくコミュニケーションが取れるようになりました。就職活動をする上でも、留学経験は大きなアドバンテージとなっています。

留学前から卒業後の進路選択に向けて自己分析を重ねる中で、私は競争するよりも協調性を活かして海外と関わる仕事がしたいと考えようになり、公務員を目指すようになりました。帰国後は一旦休学して、公務員試験対策を開始。大学の対策講座を受けながら勉強する毎日です。また民間企業の就職活動も並行しています。将来どんな仕事に就いたとしても、1年間の留学生活で身につけた異なる文化を理解する力、そして相手の立場に立って考える力を活かして頑張りたいです。

中山さん(右側)



多文化社会学部の学びのシステム

語学力を徹底的に強化し、人文社会系諸分野を「多文化社会」の観点から再編・統合した学際性に富むカリキュラム

学びの領域	1年次 世界で生起している様々な問題を読み解くための、 多文化社会学の入門的知識を幅広く学びます。	2年次 各専門分野の基礎を領域横断的に学びつつ、 関心を絞り込んで卒業までの学びをデザインします。
多文化社会に ついて学ぶ 多文化社会を理解するための知識 を、入門・基礎・専門の講義を通して 段階 的に学びます。	短期留学 短期留学 入門講義 多文化社会学の諸問題 国際公共政策入門(政治) 国際公共政策入門(法) 国際公共政策入門(経済) 社会学入門 人類学・民俗学入門 歴史学入門 文化研究入門 思想・宗教研究入門 言語コミュニケーション入門 オランダ・ヨーロッパ研究入門	基礎講義 軍縮論 国際関係基礎(政治史) 国際関係基礎(政治思想) ジェンダーと人権 国際法 ミクロ経済学 社会理論基礎 家族社会学基礎 教育社会学基礎 歴史社会学基礎 倫理学基礎 文化人類学基礎(観光) 文化人類学基礎(民族誌) 文化人類学基礎(生態・社会) 文化人類学基礎(民俗学) 文化人類学基礎(移民) アフリカ地域研究基礎 歴史学基礎(日本) 歴史学基礎(ヨーロッパ) 歴史学基礎(文化交流) 歴史学基礎(考古学) 思想史基礎(ヨーロッパ) 宗教学基礎 文化研究基礎(表象) 文化研究基礎(メディア) 言語学基礎A 言語学基礎B 英語の発想と表現A 英語の発想と表現B 日本語学基礎A 日本語学基礎B 応用言語学基礎A 応用言語学基礎B 日本語教育学概論 現代中国社会論基礎 中国文化論基礎 オランダ・ヨーロッパ地域論 日蘭比較文化 I
	キャリアについて学ぶ キャリアに関する理論的知識や実践 的能力を身につけ、インターンシップや 企業研究も併せて実施します。	キャリア科目
実践的な 調査研究手法を学ぶ 自ら設定した学術的問いに対して、 研究計画に基づき調査・分析・発表・ 議 論する方法を学びます。	演習科目 初年次セミナー	基礎演習 I 基礎演習 II
	リサーチ科目 リサーチ入門 外国語文献講読	リサーチ基礎(表象) リサーチ基礎(サーベイ) リサーチ基礎(アーカイブ)
外国語 コミュニケーション を学ぶ 外国語のしくみ、発音法、リーディング、 ライティング、ディスカッション、ディ ベートなどを学びます。	英語モジュール IELTS Reading and Writing I Reading and Writing II 総合英語 I,II,III 英語コミュニケーション I,II,III	英語のしくみと意味 I Academic Writing I Reading and Discussion I 英語のしくみと意味 II Academic Writing II Reading and Discussion II
	オランダ語科目 オランダ語 I オランダ語 II	オランダ語 III オランダ語 IV
	初習外国語 I 初習外国語 II	中国語総合表現 I 初習外国語 III 中国語総合表現 II 初習外国語 IV
幅広い知識と 技法を学ぶ 様々な教養基礎科目・自由選択科目 を通して、多文化社会を生きるための 幅広い見識と技術を身につけます。	ミュージアム・講演ラリー 大使館連続講義 情報リテラシー入門 応用情報処理 データサイエンス概論 統計学概論 プラネタリーヘルス入門 ジャーナリズム論 I,II 寄附講座:アジア共同体講座 健康科学 キャリア入門 教養選択科目 プラネタリーヘルス I 科目	キャリア実践 プラネタリーヘルス II 科目

3年次 専門分野の理解を深めると同時に関連分野へ視野を広め、卒業研究のための基礎を固めます。	4年次 入学からの学びの集大成として、自ら設定した卒業研究のテーマに取り組みます。
中長期留学 専門講義 国際政治経済論新規 核軍縮不拡散政策論 EU法 国際政治学 比較政治学 開発経済学 国際人権論 計量経済学 アジア法 国際社会学 異文化理解教育 境界文化論 異文化と家族 現代アジア社会論 陶磁考古学 グローバル文化交流史 ヨーロッパ近現代史 異文化交流論 文化資源論 地域生態論 倫理学 思想史 宗教文化論 文化表象論 映画論 メディア・スタディーズ 地域史料論 アメリカ文学論 異文化間コミュニケーション 英語音声のしくみと働き 英米文学概論 応用言語学 コーパス言語学 対照言語学(日英) 第二言語習得論 日本語学 ライデン 大学留学 日蘭比較文化 II オランダの政治と外交 オランダ社会と教育 日蘭交流史 オランダ語の特質	
キャリア形成論 国際インターンシップ	
専門演習 I 専門演習 II 特別研究	卒業研究 (オランダ特別コース)
リサーチ基礎(インタビュー、参与観察) リサーチ基礎(映像)	
Debate	
オランダ語 V	

高い語学力は学びの軸であるとともに 多文化社会で活躍するための大切なツール

多文化社会学部では、現代社会の様々な分野でグローバル人材として活躍するための不可欠なツールとして、語学力を重要視しています。とりわけ、英語力の徹底強化を目的に、系統的な英語力養成プログラムを実施しています。専門知識の習得と同時に、グローバルな多文化社会で活躍するためのスキルとして、「高度な語学力」、「学術的な英語力」の獲得を目指すことが、多文化社会学部のプログラムの大きな特徴です。

系統的な英語力養成プログラム

多文化社会学部では、英語力の徹底強化に向けて、段階的に目標値を設定した、英語力養成プログラムを実践しています。右ページで詳説するKEY Programを中心に、短期留学の実施、中長期留学の推奨(オランダ特別コースは必修)、基礎・専門講義科目の英語での開講等の取り組みを行っています。また、英語力の伸長状況を着実に測定できるように、TOEFL ITP(学部費用負担制度あり)及びIELTSを学内で定期的に実施しています。



Student's Voice

同級生と助け合いながら英語開講の講義に対応



高橋 京加 2年

長崎県立諫早高等学校 出身

KEY Programの講義は全て英語で説明されるので、最初は聞き取った内容を理解するのに時間がかかりましたが、何度も繰り返す中で意識しなくてもスムーズに理解できるようになりました。講義中に学生同士でペアを組んでテーマに沿った会話をしたり、グループでプレゼンテーションをしたりする機会も多く、自然といろんな学生との仲が深まりました。疑問点があればどの先生にも気軽に質問できるので、間違えることを恐れず楽しみながら英語を学んでいます。また私は中長期留学にも興味があるので、1年次のIELTSの試験対策は積極的に受講していました。

入学当初は英語開講の講義についていけるのか不安でしたが、同級生と助け合いながら一緒に勉強することで対応できました。多文化社会学部には英語が流暢な学生もいて、自分もうまく英語を使えるようになりたいとモチベーションが高まります。今後も英語のコミュニケーションを実践し続けて、頭の中で浮かんだ言葉をすぐに話せるようになりたいです。

英語力のトレーニング



KEY Program Academic English for Unlocking Futures 高度で学術的な英語力の養成

KEY Programは、「高度な英語力」「学術的な英語力」を養成するために開発された、体系的な英語語学プログラムです。従来型の技能別科目ではなく、英語発信力の向上をより重視した技能統合型科目で編成されています。このプログラムで提供される12科目を3年間集中的に受講することで、世界で通用する実践的な英語運用能力を習得し、グローバル社会へのドアを開くKEY(鍵)を手に入れることを目指します。具体的には、英語コミュニケーションへの関心・意欲を重視し、「英語を用いて○○ができる」ことを目指し、英語による批判的思考(Critical Thinking)や問題解決能力(Problem Solving)を向上させます。このことにより、特に、英語で開講される専門科目を受ける力、英語圏で中長期留学を行う力の養成を図ります。



IELTS/TOEFL iBT 対策サポート

英語四技能検定試験を見据えた個別指導

中長期留学を行うためには、英語四技能検定試験であるIELTS又はTOEFL iBTにおいて、規定のスコアを取得する必要があります。英語四技能検定試験において、個人での対策が難しいのは、スピーキングとライティングです。多文化社会学部では、IELTS/TOEFL iBT対策サポートを設けており、経験豊富な講師陣が担当するスピーキング・ライティングに関する個別指導を受けることができます。

多文化ラウンジ

フリースペースを活用して語学力アップ!

多文化社会学部の学生さんが自由に使えるスペースで学生同士、あるいは留学生や教員との交流スペースとして活用できます。学生同士でスピーキングの練習をしたり、留学生と英会話をしたりすることで、語学向上のための実践的な活動を行うことができます。また、ラウンジでは、定期的開催される多文化コミュニケーションコーナーに参加したり、IELTSやTOEFLを中心とした検定試験関係の書籍や多読用の書籍を借りることもできます。



異文化への理解を深めるために留学を推奨している長崎大学。そのなかでも多文化社会学部では、短期・中長期留学やフィールドワーク実習（海外）等、さまざまな形で海外で学ぶプログラムを設定しています。英語をはじめとする語学力の向上を目指すだけでなく、世界を舞台に多文化社会学の専門性を深めることを目的としています。

Visit our website for details



短期留学

多文化社会学部では、英語能力の向上と異文化交流への関心を高めることを目的に、夏季（9月）又は春季（3月）の4週間程度、ホームステイや現地学生との交流を経験しながら、海外大学との連携に基づくプログラムを提供します。

留学前には複数回のオリエンテーションを開催し、現地の事情を学び、安全についての意識を身につけます。過去に実施した短期留学では教職員が旅程の一部を引率して留学生生活をサポートしました。

過去の実績は次のとおりです。プログラムの内容および奨学金の給付額は変更する可能性があります。

◆留学先地域、大学及び時期について（過去の実績）

地域	時期
アメリカ	カリフォルニア州立大学モントレーベイ校
	ジェームズタウンコミュニティカレッジ
	ナショナル大学
	ミシガン州立大学
カナダ	ウィニペグ大学
	カルガリー大学
	ニューファンドランドメモリアル大学
	マニトバ大学
フィリピン	レスブリッジ大学
	デラ・サール アラネタ大学
オーストラリア	エディスコーワン大学
	クイーンズランド工科大学
	サザンクロス大学
イギリス	キール大学
	ハイランド&アイランド大学パース校
マレーシア	マレーシア大学サバ校

◆プログラム参加費用（実績） 約50万円～

※代金は変動する可能性があります。

エコノミークラス利用往復航空券、航空保険料・燃油費、日本・現地空港諸税、現地空港～大学の往復送迎費、宿泊費、授業料・研修費、食費（一部）

※その他、個人で負担・支払いをする費用（一部を例示します）：超過手荷物料金、海外旅行保険、長崎又は福岡空港までの往復交通費、その他個人的生活諸費用

◆留学奨学金（過去の実績）

8万円（アメリカ、カナダ、イギリス）

7万円（オーストラリア、フィリピン、マレーシア）

※学業成績や家計の所得を踏まえて給付します。
支給金額・条件は変更となる場合があります。

フィールドワーク実習（海外）

※令和5年度は新型コロナウイルスの影響で実施されませんでした。

フィールドワーク実習（海外）では、アジアやアフリカなどからフィールドを選定し、他者と出会い、相互作用する中で、グローバル時代の社会人として必要な実証と理論の力を高め、同時に多分野横断的な学びを実現することができます。平成28～29年度はタンザニアのザンジバルで、令和6年度は台湾でフィールドワークを実施しました。

Message

台湾の生活と深く繋がった屋台文化を現地で調査

塩 実乃梨 3年 鳥取県立鳥取西高等学校 出身

実習地：台湾

アジアの国々の食文化に興味があり、2週間の海外フィールドワーク実習に参加。台湾の国立嘉義大学の交流プログラムとして中国語の学習や周辺のフィールドワークを行いながら、現地の屋台文化について調査を行いました。台湾では屋台が生活の一部のように身近な存在で、朝・昼・夕と外食することが珍しくありません。さらに食事を提供する屋台だけではなく、服や雑貨の販売、射的のような娯楽など、いろんな形態の屋台が集まることで幅広い世代の人で賑わっています。滞在期間中は毎日のように屋台へ。香辛料をたっぷり使ったローカルな料理から、若者向けのキャッチーな料理まで堪能しました。また屋台ならではの店主との気さくな距離感も感じられて、台湾に根付いた食文化を実際に体感できて楽しかったです。

3年次後期からは同じく台湾への長期留学を予定しています。中国語のスキルを磨きながら、フィールドワークで得られた気付きや新たな疑問をさらに探求していくとともに、より具体的な研究テーマや調査手法を検討していきたいです。

期間：2週間、宿泊先：学生寮、奨学金：なし、支出：約15万円



現地ではいろんな屋台グルメを食べ歩き。日本との食文化の違いを学ぶことができました。立ち寄った屋台でのフレンドリーなもてなしも印象的で、人のあたたかさを感じました。

Message

海外で活躍する将来像が明確化

吉本 莉子 2年 福岡県立修猷館高等学校 出身 留学先：カナダ／カルガリー大学

現地の大学では、英語の文法や会話、読解など、テーマごとにまとめた時間をかけて学びます。日本の中学や高校の授業で習得しきれなかった部分を学び直す機会になりました。また校内では英語だけでコミュニケーションするルールがあり、授業で習った言葉や表現を自然と実践できる環境でした。最初は英語の文章を一語一句考えながら不安な気持ちで話していましたが、少しずつ間違いを恐れず前向きに話せるようになりました。またいろんな国籍の留学生と英語を使ってコミュニケーションする中で、これまで遠い存在だった海外がもっと近くに感じられるようになりました。

留学中にメキシコからきた留学生と仲良くなったことがきっかけで、独学でスペイン語の勉強も始めました。日本語や英語と異なる言語に触れることで、学びの楽しさを改めて実感。言語コミュニケーションコースの専門科目に対するモチベーションも高まっています。将来は日本語教師としていろんな場所で活躍したいと考えていて、短期留学を通してそうした理想像がより明確になりました。

Weekly schedule

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday
9:00~12:50 9~12 ESL (English as a Second Language)	9:00~12:50 9~12 ESL (English as a Second Language)	9:00~12:50 9~12 ESL (English as a Second Language)	9:00~12:50 9~12 ESL (English as a Second Language)	9:00~12:50 9~12 ESL (English as a Second Language)	オプションツアーに参加、ホストファミリーと過ごす、ダウンタウンで買い物	
Lunch	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch		
13:00~17:30 Vocabulary & Idioms	13:00~17:30 Literature Circle	13:00~17:00 Pronunciation	13:00~15:30 Literature Circle	13:00~15:30 Vocabulary & Idioms		

期間：1ヶ月間 宿泊先：ホームステイ 奨学金：JASSO（16万円） 支出：約100万円



留学生の友人たちと大学内のカフェで休憩。授業以外にも英語で話す機会がたくさんありました。



オプションツアーでスノーボードを満喫。他にも動物園に出かけたり、休日も充実した時間を過ごしました。

海外インターンシップ

多文化社会学部では、国内インターンシップの支援のほか、学部独自の英語圏・非英語圏双方の海外インターンシッププログラムを提供しています。英語と現地語を実際に使用しながらの海外現地生活を体験し、多様な文化と人々との出会いにより、グローバル社会を生き抜くための経験的知識の獲得を目指します。令和6年度は、フィリピン、カンボジアでインターンを実施しました。

Message

海外で働くことのイメージが明確化

堀込 美紗輝 3年 群馬県立高崎女子高等学校 出身 インターンシップ先：フィリピン／マクタン・セブ国際空港

チェックインカウンターでの案内や搭乗出入口でのチケット照合、手荷物の確認など、実際の運行に関わる業務は大きな責任とやりがいがありました。私は韓国の航空会社の担当で、英語での案内が通じない場面もありましたが、身振り手振りで駆使しながらなんとかコミュニケーションが取れた時は嬉しかったです。また現地スタッフと英語で会話する際、互いに母国語ではないので最初は聞き取りに時間がかかりましたが、少しずつ慣れていきました。

期間中に出会った現地のフィリピン人学生はとにかく陽気で、退勤後にお店を案内してくれたり、郷土料理を手作りしてくれたり、本当にやさしい人ばかりでした。以前からいつか海外で働きたいと思っていましたが、もっとフィリピンやアジアの国のことを知りたくなりました。まだまだ自分の将来像は漠然としています、インターンシップがこれから模索する上で大きな判断材料になったと感じます。これから半年間のイギリス留学を予定しているので、これまでの海外経験とともに卒業後の進路選択に繋げていきたいです。



堀込さん（左から2番目）

期間：14日間 宿泊先：現地アパート 奨学金：長崎大学田添グローバル交流推進基金奨学金（7万円） 支出：約10万円

中長期留学

中長期留学は、語学力の向上にとどまらず、学部で学んだ専門知識を土台として、留学先においてさらに専門性を深めることを目的としています。大学間の学術交流協定に基づく交換留学として実施されるため、学生は長崎大学に学費を納入し、長崎大学に在学したまま半年から1年間留学することになります。

- ・留学するためには、定められた時期までに語学力及び学業成績に関する一定の学部内要件を満たすとともに、学内選考に合格することが必要です。
- ・「オランダ特別コース」の学生は、1年間のオランダ留学が必須となります。その他のコースの学生にも中長期留学を強く推奨します。
- ・留学先で修得した単位は、授業内容・レベル・形態の観点から精査し、長崎大学で開講している科目の単位として認定します。そのため、中長期留学に参加した場合でも4年間で卒業することも可能です。

留学奨学金

長崎大学では、中長期留学に係る費用の一部を支援することを目的として、海外留学奨学金制度を整備しています（受給できる人数には限りがあります。また、予算の都合により今後変更される場合があります）。また、様々な外部団体の奨学金制度を活用できるように支援しています。

なお、奨学金を受給するには、学業成績や家計基準など一定の基準を満たす必要があります。

※受給できる人数には限りがあります。また、予算の都合により今後変更される場合があります。

◎日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度（協定派遣）（給付型）

最大12ヶ月間、月額8～12万円（留学地域により異なる）

◎長崎大学海外留学奨学金（給付型）

最大3ヶ月間、月額6～10万円（留学地域により異なる）

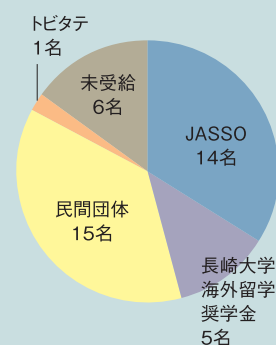
◎トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム（給付型）

単位取得を目的とした留学だけでなく、インターンシップやフィールドワークなど、自分で組み立てた留学計画を支援。奨学金（最大12ヶ月間、月額12～16万円（留学地域により異なる））、留学準備金、授業料などの支援あり。

◎業務スーパージャパンドリーム財団奨学金（給付型）

最大12ヶ月間、月額15～20万円（留学地域により異なる）

2024年度 派遣学生（41名）の受給実績



【ノルウェー】
ノルウェー科学技術大学

【イギリス】
○アバディーン大学
○オックスフォード・ブルックス大学
○キール大学

【ドイツ】
○ゲオルク・ジモン・オーム大学ニュルンベルク
（ニュルンベルク工科大学）
○ハインリヒ・ハイネ大学
（デュッセルドルフ大学）

【オランダ】
○ライデン大学
○ラドバウト大学

【ベルギー】
○モンス大学
○ルーヴェン・カトリック大学
○ゲント大学

【フランス】
○アンジェ大学
○パリ東＝クレティユ大学
○ブルゴーニュ大学

【スペイン】
○マラガ大学
セビリア大学

【イタリア】
○カ・フォスカリ大学

【ポルトガル】
○新リスボン大学

【イラク共和国】
スレイマニ工科大学

【インドネシア】
インドネシア大学

【タイ】
チェンマイ大学
○チュロンコン大学
○タマサート大学

【フィリピン】
○アテネオ・デ・マニラ大学
○フィリピン大学ディリマン校
○フィリピン大学ピサヤ校

【マレーシア】
○テイラーズ大学
マレーシア大学サバ校

【ブルネイ】
○ブルネイ・ダルサラーム大学

【中国】
○華東師範大学
○陝西師範大学
吉林大学
○山東大学
西北大学
○北京外国語大学
○上海師範大学
○上海外国語大学
天津師範大学
中国社会科学院大学
大連外国語大学

【台湾】
亞洲大学
国立政治大学
○国立台湾大学
国立台湾師範大学
国立高雄大学
成功大学
中国文化大学

【韓国】
○東国大学校
○成均館大学校
○慶北大学校



海外協定先（令和7年4月1日）

長崎大学には世界各地に海外協定先があります。夢や目標を持って世界へと飛び出していく学生を支援するため、今後も、さらに海外協定先のネットワークを広げていきます。

※○はこれまで派遣実績がある協定校（令和7年4月1日）

【オーストラリア】
○ウェスタンシドニー大学
○エディンバラ大学
○サンシャインコースト大学
○ディーキン大学
○サザンクロス大学

留学サポート体制

多文化社会学部では留学相談室を設置し、留学に関する必要な情報を提供しています。留学先の決定や渡航手続き、履修科目の選択等、留学に関する疑問や不安は、海外経験が豊富な留学コーディネーターに相談することができます。

学生が海外留学に出発する前には、危機管理等に関するオリエンテーションを実施しています。留学中は、指導教員等が随時電子メール等で学生の修学・生活相談に応じるほか、留学先大学の担当者とも密に連絡を取り合い、学生の状況を把握するとともに、学部内での情報共有とトラブルへの対応に当たっています。

また、長崎大学は留学生危機管理サービス(OSSMA)への加入も推奨しています。



オリエンテーションの様子

- 【カナダ】
 - ウィニペグ大学
 - カルガリー大学
 - ニューファンドランドメモリアル大学
 - レスブリッジ大学
- 【アメリカ】
 - アーカンソー工科大学
 - カリフォルニア州立大学モントレーベイ校
 - ノースイースタン・イリノイ大学
 - ノーザン州立大学
 - モラヴィアン大学
 - フロストバーグ州立大学
 - ミネソタ州立大学マンケイト校

Visit our
website
for details



知識がさらに深まる英語圏での学び

比嘉 李音 4年 沖縄県 出身

留学先：オーストラリア／ウェスタンシドニー大学



オーストラリアは多民族国家で、学生もいろんな国から集まっています。それぞれ英語のアクセントが異なり最初はうまく理解できず苦労しましたが、何度も会話を重ねる中で少しずつ聞き取れるようになりました。途中で間違えても最後まで話すことを意識することで、単語が出てくるスピードがより早くなったと感じます。また普段から寮でいろんな留学生と日常的に交流する中で、英語の会話が総合的に向上しました。

留学先では現地の学生と同じ講義を選択。第二外国語としての英語の教育理論を英語圏で学べたことは、これまで日本で学んできた知識を深めるきっかけになりました。休日は積極的に旅行やアクティビティを楽しみ、オーストラリアの豊かな自然を満喫。気候も過ごしやすく、半年間の留学生活はとても快適でした。私はもともと外国人向けの日本語教育に興味があり、大学の日本語講義や地域の子ども向けの日本語授業にもボランティアとして参加しました。卒業後もいろんな経験を重ねて、いつか日本語教育に携わる仕事に就きたいと思います。

履修科目：4科目 住居：学生寮 奨学金：業務スーパー・ジャパンドリーム財団奨学金(15万円/月) 支出：約20万円/月

文化や社会を実体験から理解

大西 健太郎 4年 千葉県 出身

留学先：中国／山東大学



将来は中国を起点としてアジア圏で働きたいと考えて、大学入学後に中国語の学習を開始。せっかく留学するのならチャレンジングな環境で自分を鍛えようと、日本人留学生の少ない中国の大学を選択しました。現地では留学生向けの中国語の講義だけではなく、自分から教員に問い合わせる経済学の講義にも参加。中国のECサイトを実際に使いながらeコマースについて学べたことが印象的で、とても貴重な経験になりました。また大学の野球部に所属して大会に出場したり、友人たちと学外のジムに通ったり、できるだけ現地の人と交流する機会を多く持ったことで会話が向上。人口の多い中国ならではの文化や社会を実体験として理解できたことは、留学の大きな成果です。

最初から4年間で卒業するつもりだったので、留学期間中に就職活動も並行して取り組み、中国と関わるの深い商社から内定をいただくことができました。中国では文化や言葉の違いを感じてつらい時期もありましたが、この経験が絶対に自分のためになると信じることで乗り越えることができました。

履修科目：10科目 住居：学生寮 奨学金：日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(8万円/月) 支出：約8万円/月

言葉で伝えることの大切さを実感

藤田 佑 4年 広島県 出身

留学先：イギリス／オックスフォード・ブルックス大学



グローバルな環境で学びたい気持ちに加えて、幼い頃から打ち込んでいるサッカー発祥の地とされるイギリスへの憧れもあり1年間の留学へ。学部問わず気になった講義を選択できたので、言語学や社会学、人類学など、幅広い分野を学ぶことができました。また学生同士のグループで意見交換する機会が多く、いろんな考え方に触れられて楽しかったです。課題だった英語の語彙力を高めるため、他の学生が使う表現や言い回しをよく参考にしていました。課題や予習・復習は日中に集中して進めて、夕方以降は大学のフットサル部で活動。様々な国から集まったチームメイトと活発に言葉を交わす中で、相手に意見や気持ちを伝えることをより前向きに捉えられるようになりました。

休日にはプロサッカーチームの試合観戦や本場のパブも満喫。イギリスはサッカーが生活の一部であることを肌で感じました。留学期間中はとにかく自分から人と関わることが大切で、そうした積極性さえあればきっと得るものが大きいと思いますし、将来の進路もより具体的に見えてくると思います。

履修科目：8科目 住居：学生寮 奨学金：なし 支出：約22万円/月

Weekly schedule

2024秋学期	月	火	水	木	金
9:00-10:00		SOCL Social Differences & Diversity Lectures			
10:00-11:00			ANTH: Family, Kinship and Society		
11:00-12:00					
12:00-13:00	CMC: Communication for Justice	SOCL Social Differences & Diversity (Seminar)			
13:00-14:00				SOCL Gender & Society	
14:00-15:00					
15:00-16:00					
16:00-17:00					

2024春学期	月	火	水	木	金
9:00-10:00	UK: British History and Society of the 19th Century (Lectures)				
10:00-11:00				SOCL Global Social Issues	
11:00-12:00					
12:00-13:00			PhD Thesis Language Learning (TED)		
13:00-14:00					
14:00-15:00				CMC Understanding Culture	
15:00-16:00					
16:00-17:00					

キャリア教育 Career education

国内マーケットの縮小に伴い、企業の多くは海外進出に力を入れています。なかでも国民の平均年齢が若く、経済発展が見込まれる東南アジアやアフリカは注目されています。グローバル時代のキャリア形成について、社会や企業の最前線の動きをにらみ、1年次からじっくりと考えていきます。

全学年

キャリア支援室 キャリア カウンセリング

多文化社会学部では、学部独自のサポートとしてキャリア支援室を設置しています。希望者は、学年と時期を問わず学部専属カウンセラーによるキャリアカウンセリングを受けることができます。

3年次

キャリア形成論

卒業後のキャリアを考え、実践的な準備をします。企業や自己の分析、学部での学びをもとに、社会でどのように活躍していくのかを考えます。授業のなかでは、企業で働いているかたなどをお招きして、お話を聞くこともあります。

自主企画 インターンシップ

学生が自分で企画したインターンシップの活動を、事前学習、事後学習も含めて、単位として認めるものです。短期、中長期の留学や海外フィールドワークとともに、海外インターンシップも推奨しています。ミャンマー、ラオス、カンボジア、フィリピン(セブ)、ハワイなどの日本語学校、戦争博物館、空港、ホテルで就業経験を積みながら、異文化コミュニケーションを実践します。

卒業生の就職実績 (2021~2024年度)

■ 主な就職先

【製造業】

TOTO、日本軽金属、ニプロ、小森コーポレーション、淀川製鋼所、堀場製作所、常石造船、日立金属、日本水産、大石産業、スタンレー電気、電気興業、福岡造船、アイリスオーヤマ、宇部興産、中興化成工業、友樹飲料、浜新硝子、オカムラ、日産自動車、キャノン、ディスコ、高砂香料工業、スズキ、カルビー、旭精工、長府製作所、ヤマハ発動機、カワサキモータース

【商社】

双日、日鉄物産

【サービス業】

ハウテレビジョン、トランスコスモス、長崎空港ビルディング、ルートインジャパン、リージョナルクリエーション長崎、ベルシステム24、乃村工藝社、ANAテレマート

【運輸業・郵便業】

日本航空(JAL)、福岡空港、西日本鉄道、九州旅客鉄道(JR九州)、四国旅客鉄道(JR四国)、日産トレーディング、マツダロジスティクス、日本通運、アルプス物流

【メディア・情報通信業】

NHK、共同通信社、毎日新聞社、河北新報社、鹿児島テレビ放送、長崎新聞社、熊本日日新聞、沖縄タイムス社、メビウス、Qtet、日本タタ・コンサルタンシー・サービス、デルテクノロジーズ

【学術研究・専門・技術サービス業】

DTS、船井総合研究所、シアトルコンサルティング、日立ソリューションズ西日本

【宿泊業・飲食サービス業、旅行業】

星野リゾート、星野リゾート・マネジメント、阪急交通社、JTB、日本旅行、リージョナルクリエーション長崎

【金融業・保険業】

ジブラルタ生命保険、チューリッヒ保険、SMBCコンシューマーファイナンス、十八親和銀行、楽天カード、東京海上日動火災保険、宮崎銀行、鹿児島銀行

【卸売・小売業】

ニトリ、ファーストリテイリング、ファミリーマート、TASAKI、ダイレックス、イオン九州、ドラッグストアモリ

【教育、学習支援業】

NOVAホールディングス、トライグループ、獨協大学(職員)、兵庫県教育委員会

【医療・福祉】

アツヴィ、光明童園

【不動産取引業】

JLLモールマネジメント、オープンハウス、穴吹ハウジング

【電気・ガス・熱供給・水道業】

九州電力、メタウォーター、西部ガス長崎

【建設業】

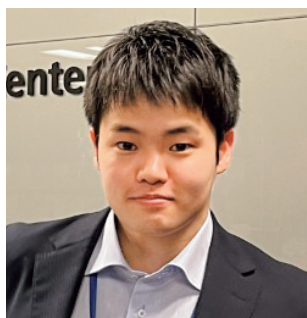
前田建設工業、旭化成ホームズ、日鉄テックスエンジ

【公務等】

国際協力機構(JICA)、出入国在留管理庁、中小企業基盤整備機構、日本政策金融公庫、福岡国税局、長崎税関、大分地方方法務局、佐賀労働局、長崎県健康事業団、陸上自衛隊、東京都、長崎県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、沖縄県、長崎市、佐世保市、福岡市、唐津市、鹿児島市、筑後市、長崎大学

■ 大学院進学

東京大学、京都大学、大阪大学、東北大学、九州大学、一橋大学、長崎大学、順天堂大学、筑波大学、Oxford Brookes University (International Business Management)



黒木 亮佐 3期生

JETRO (日本貿易振興機構) 就職
グローバル社会コース

出会いと経験が広がってくれた可能性

多文化社会学部での5年間は人との出会い・成長する機会に恵まれた期間でした。大学入学時には欧米圏への留学を目標としていましたが、1年次の寮生活で、ルームメイトの台湾人の留学生と親しくなり、国立台湾大学へ1年間の交換留学を経験しました。

多文化社会学部には中・長期留学はもちろん、短期留学、外国語スピーチコンテストなど、自ら手を挙げれば多くのことを経験できる環境があります。こうした経験や、学習意欲に溢れた友人に囲まれたキャンパスライフを送る中で、自分は将来何をしたいのかということが明確化できたように思います。

現在、私は、独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO) にて、日系企業の海外進出を支援する事業に携わっています。留学中に培った語学力を生かし、中国に駐在しながら、中国の政治・経済状況の調査をすることが現在の目標です。

大学生は、さまざまな勉強や経験を通じて自分自身の人生における選択肢を探し、同時に自身の将来の選択肢を広げる貴重な時間です。自分自身の可能性を探り、そして可能性を広げるための4年間で、素晴らしい仲間と機会に恵まれた多文化社会学部で過ごせたことは、私にとって生涯の宝です。



村上 文音 9期生

日本放送協会 就職
言語コミュニケーションコース

社会に対する問題意識が学びを深める糸口に

ディレクターとしてニュース番組の特集企画を制作や、高校野球や選挙などの中継番組の取りまとめなどを担当。まだまだ目の前の仕事に精一杯ですが、番組を通して取材した方に喜んでいただいたり、放送後に反響があったりすると嬉しいですね。もっと経験を重ねて、人の感情の動きをなるべくそのまま番組として伝えられるようになりたいです。

長崎で生まれ育ち平和学習に強い関心を持っていたことがきっかけで、在学中に核兵器廃絶長崎連絡協議会が主催するナガサキ・ユース代表団に参加しました。こうした経験を社会人として活かしたいと、就職活動はマスコミ業界に集中。行き詰まって悩む時期もありましたが、いろんな人とたくさん話をする中で、自分らしくいることの大切さを再発見することができました。

多文化社会学部では幅広い専門分野を学んだ上で、その中から自分の興味のあるテーマを深掘りしていくことができます。社会に対する自分なりの違和感や問題意識がヒントになると思います。そしてユニークな学生や先生方が多いのも特徴で、人と違うことを互いに認め合えるような雰囲気が最大の魅力だと思います。



山本 春 3期生

長崎県公立高校 就職
共生文化コース
※現在は言語コミュニケーションコース
のみ、高等学校教諭一種免許状 (英語)
が取得可能

英語で積極的に話したくなる雰囲気の授業を

在学中に英語の教員免許を取得して、長崎県内の高校で勤務しています。生徒の希望する進路によって英語に対する意欲は様々ですが、授業の進め方や教え方を工夫して、英語の面白さを伝えられるよう試行錯誤しています。また人前で発表することが恥ずかしい生徒も多いので、普段からチャレンジする姿勢を積極的に評価して、失敗しても大丈夫だと安心できる授業の雰囲気を大切にしています。

教育学部という選択肢もありましたが、充実した留学制度や様々な文化を学べる講義に興味があり、多文化社会学部を選びました。実際にカナダとオーストラリアへの留学を通して、国や地域ごとの発音の違いや、自分の気持ちを言葉で相手に伝えることの大切さを感じました。また学外活動として、日本に滞在する外国人の方に英語で日本語を教えるボランティア活動にも参加しました。年代も国もバラバラの相手に教える中で、言葉を通してお互いの距離が縮まったり、文化を深く理解する様子を目の当たりにして、教員という仕事に対する気持ちが強くなりました。今後は授業の中で、気持ちを英語で伝えたり、英語を通して生徒自身の考えを見つめ直す機会を増やしていきたいです。

Visit our website
for details



多様な知識と経験を持つ教員との出会いも 多文化社会学部の大きな魅力

多文化社会学部には、海外の様々な文化に通じる日本人の教員と外国籍もしくは外国出身の教員が在籍しています。様々な現場で実務経験のある教員も多く情報に奥行きがあり、実践的な知識が詰まった講義が展開されます。これから多文化社会へと羽ばたいていく皆さんにとって多様なバックボーンを持つ教員たちとの出会いはかけがえのない学びの機会となることでしょう。

※[]内は教員の主な開講科目名です。 ※科目名は変更となる可能性があります。 ※教員情報は、令和7年5月1日現在のものです。



教授
野上 建紀
NOGAMI, Takenori
【陶磁考古学】

専門は考古学。陶磁器を生産した窯、運んでいた船、消費していた都市の遺跡を調べて、「陶磁の道」とも呼ばれる「海のシルクロード」を研究。



教授
木村 直樹
KIMURA, Naoki
【地域史料論】

日本近世政治・外交史（対外関係史）について、長崎を起点に研究。島原の乱や、九州発近世屈指の大飢饉である寛永飢饉についても研究。



教授
小松 悟
KOMATSU, Satoru
【開発経済学】

専門は開発経済学、環境経済学。アジアの途上国を対象として、国の経済開発と環境改善を両立させながら、持続可能な発展のためにはどのような政策が望ましいかを分析。



教授
才津 祐美子
SAITSU, Yumiko
【文化資源論】

専門は民俗学、文化人類学。近現代の日本における地域文化の表象・継承・活用のあり方について、文化遺産保全を中心に研究。



教授
賽漢卓娜
SAIHANJUNA
【異文化と家族】

専門は家族社会学、移民研究、ジェンダー研究。アジアにおける国際と国内の移動現象について質的研究。移動者を主体的に捉え、その目線を重視。



教授
西田 充
NISHIDA, Michiru
【軍縮論】

専門は、国際安全保障、軍備管理・軍縮・不拡散。外務省での核問題における長年の実務経験を活かし、特に北東アジアの安全保障を向上させるための軍備管理や軍縮不拡散といったツールを用いた具体的な方策を研究。



教授
西原 俊明
NISHIHARA, Toshiaki
【コーパス言語学】

専門は、言語学、英語学、応用言語学。英語を中心に、言語に見られる普遍性・個性についてコーパス等を用いて研究。



教授
葉柳 和則
HAYANAGI, Kazunori
【文化表象論】

専門は文化社会学。主テーマとして多言語国家スイスのナショナル・アイデンティティ、副テーマとして近現代長崎の都市イメージを取り上げ、表象の政治という視点から研究。



教授
廣江 顕
HIROE, Akira
【英語科教育学】

専門は、生成文法の理論的研究。統語形式と意味のミスマッチを主な研究対象としている。また、英語教育法のあり方を、教育現場における現実を踏まえながら研究。



教授
細田 尚美
HOSODA, Naomi
【文化人類学（移民）】

専門は、文化人類学、東南アジア地域研究、移民研究。主にアジアや中東に出稼ぎ中のフィリピン人についての現地調査を通じて、世界情勢や各国の移民政策と、彼らのコミュニティやアイデンティティの変遷との関連を研究。



教授
森川 裕二
MORIKAWA, Yuji
【国際政治学】

国際政治の仕組みが、一体化する世界の中でどのように変化しているのか、国際政治の理論的な基礎を歴史的な背景や現実の社会の動きに照らして研究。



教授
王 維
WANG, Wei
【異文化交流論】

長崎をはじめ、世界各地におけるチャイナタウン及び華人系社会・文化及び上位社会との交流史、音楽受容史、異文化観光について研究。



准教授
姉川 雄大
ANEGAWA, Yudai
【ヨーロッパ近現代史】

歴史学。主なテーマは近現代東欧（ハンガリー）社会からみた「市民社会」やナショナリズムの問題。特に、「あるべき国民」「あるべき家族」像などの規範によって人々が価値づけ・序列化される政治を社会史的に研究。



准教授
カトローニ ピノ
CUTRONE, Pino
【異文化間コミュニケーション】

専門は、異文化語用論、応用言語学/TESOL、社会言語学、談話分析。日本におけるEFL（外国語としての英語）の教授法を研究。



准教授
河村 有教
KAWAMURA, Arinori
【国際人権論】

専門はアジア・アフリカ法、刑事法。人権侵害、ジェンダー問題、核兵器廃絶・禁止含む平和の構築維持について探究。刑事手続、ハラスメントいじめ調査、懲戒処分手続、CDR等手続きについてのルールのあり方も研究。



准教授
ギュルベヤズ アブドゥルラッハマン
GUELBEYAZ, Abdurrahman
【メディア・スタディーズ】

専門は、言語学、社会学、記号論、言語社会学、音楽学。言語や同種の記号制度と、社会性・すなわち人間性との相互関係の諸相を研究。



准教授
佐藤 美穂
SATO, Miho
[グローバルヘルス]

専門は保健システム研究。質的手法を用いて主にアフリカにおいて人々の健康希求行動や保健医療従事者の動機付けを研究する一方、保健プロジェクトに短期専門家として参画。



准教授
佐藤 靖明
SATO, Yasuaki
[地域生態論]

専門は生態人類学、民族植物学、アフリカ地域研究。暮らしと文化の視点から、バナナをはじめとする植物と人間の関係を研究。また、アフリカにおけるてんかんの一種「うなづき症候群」の患者と家族をめぐるケアの方法を研究。



准教授
南 誠
MINATO, Makoto
[トランスナショナルリティ論]

専門は歴史社会学、国際社会学。中国帰国者の調査や、満洲の歴史と記憶の国際比較を手がかりに、近代東アジアにおける境界文化の生成と溶解について研究。



准教授
森 元斎
MORI, Motonao
[思想史]

専門は、哲学・思想史・文化研究。現代哲学の著作・論文を読解するとともに、そこに潜む人間・社会・自然の問題を分析・研究。



助教
末永 広大
SUENAGA, Koudai
[対照言語学(英)]

専門は生成文法、英語学、統語論。移動や削除など、言語が普遍的に持つ特性を理論的な観点から研究。



助教
田村 康貴
TAMURA, Koki
[倫理学]

専門は倫理学。19世紀以降のフランスにおける倫理思想や道德教育を中心に、人間の生やその価値をめぐるさまざまな問題について研究。



助教
野田 智子
NODA, Tomoko
[日本語教育]

専門は日本語教育、日本語学、方言学。日本語の教授法研究や教材の制作などに取り組む。また、主に長崎県内の方言の多様性や地域差に関する研究も行っている。



助教
福田 紗耶香
FUKUDA, Sayaka
[異文化理解教育]

専門は、比較教育学、教育学。オランダをフィールドとして、移民の子どものはじめとする社会的に不利な立場におかれた人々の教育格差を是正するための就学前教育の取り組みおよび制度を研究。



准教授
コンペル ラドミール
COMPEL, Radomir
[比較政治学]

専門は政治学。各国の政治について、体制、組織、政策、住民との関係および歴史的な背景を踏まえ、共通点及び相違点を研究。



准教授
阪野 祐介
SAKANO, Yusuke
[宗教文化論]

専門は人文地理学(宗教地理学)。主に宗教現象を地域や景観、場所の視点から考察。研究対象は近現代日本社会における宗教・信仰が中心。そのほか、東アジア文化論、とくに日韓文化交渉に関する研究。



准教授
白井 章詞
SHIRAI, Shoji
[キャリア形成論]

大学におけるキャリア教育について、教育効果と問題点を調査・研究。若者の職業能力の開発に資する教育プログラムの開発と実践にも取り組む。



准教授
西川 美香子
NISHIKAWA, Mikako
[応用言語学(英語)]

英語教育・応用言語(言語テスト)を専門とし、英語学習者の特性やニーズにあった指導法を比較、検証するツールとして、言語テストを用いた研究をおこなっている。



助教
イナキナイ アレーナ ディアン アイリン
YNACAY-NYE, Alayna Deanne Irene
[国際政治経済]

専門は政治経済。主なテーマは、地方のコミュニティへの農村(漁民)の生計、伝統的知識構造、海洋資源への影響を批判的に分析し、民営化と企業の意思決定役割について研究。



助教
作元 裕也
SAKUMOTO, Yuya
[英語のしくみと意味]

生成文法理論に基づき言語学を研究。英語、日本語、中国語等の言語における差異や類似点に着目し、それらに対する理論的な説明を探索。特に、人間の言語計算に関係すると考えられているPhase(e.g. Chomsky (2000))に関連する研究を行っている。



助教
寺田 晋
TERADA, Kuniyuki
[国際社会学]

多文化主義とシティズンシップをテーマに、多様な人々が生活する社会における平等の問題について考えています。具体的には、移民政策の国際比較、多文化主義の規範理論、日本の移民政策の歴史等を研究。



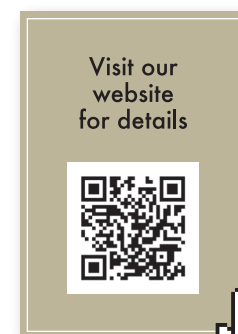
助教
トート ルディ
TOET, Rudy
[Introduction to Japanese Linguistics]

専門は言語学・日本語学。現在、近世の長崎出島に滞在した外国人たちが残した日本語研究資料を歴史、日本語学史、言語学の各観点から研究。



助教
李 頌雅
LEE Song Ya
[日本語教育]

専門は指導と学習の相互行為に関するマルチモーダル会話分析。日本人学生と外国人留学生の授業外学習活動における相互理解の達成を研究。近年は身体的技術の指導と学習の相互行為に関する研究を行っている。



互いを知り

絆を深める寮生活

国際学寮ホルテンシア

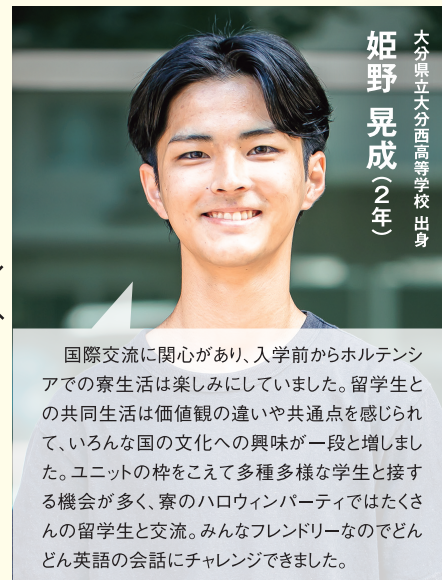
多文化社会学部生を含む希望者は、入学して1年間は寮に入りルームシェア形式で共同生活を送ります。様々な文化的背景を持つ者同士が、日常をともにすることで深い絆も生まれます。今年度の入寮者2人に寮生活を振り返ってもらいました。

※希望者多数の場合は入居できない場合があります。



兵庫県立北須磨高等学校 出身
宮野 亜紀(1年)

大学では新しいことに挑戦したくて寮長に立候補しました。寮生活の悩みや要望を聞いてまとめたり、スポーツ大会やパーティなどのイベントを企画したりする中で、たくさんの学生と交流を深めることができています。寮での生活は日本人同士でも地域ごとの文化の違いを感じることがあって面白いです。在学中に一度は海外に行きたいので、寮での経験を活かしたいと思います。



大分県立大分西高等学校 出身
姫野 晃成(2年)

国際交流に関心があり、入学前からホルテンシアでの寮生活は楽しみにしていました。留学生との共同生活は価値観の違いや共通点を感じられて、いろんな国の文化への興味が一段と増えました。ユニットの枠をこえて多種多様な学生と接する機会が多く、寮のハロウィンパーティではたくさんの留学生と交流。みんなフレンドリーなのでどんな英語の会話にチャレンジできました。

国際学寮ホルテンシア

下記は令和7年6月1日時点の情報です。令和8年度から変更される可能性があります。

【所在地】長崎市内(大学まで徒歩12分程度)

【収容人数】135人(A棟72人・B棟63人)1ユニット4人のルームシェア形式(ただし、1ユニットのみ車椅子対応の3人のルームシェア)※入学者の状況によっては、外国人留学生とのルームシェアとならない場合があります。

【入居費用】寄宿料25,000円/月、共益費3,000円/月(ただし、水道・ガス代を除く。)※月額が改定される可能性があります。寄宿料等は原則半期(6カ月)ごと4月及び10月に徴収します。また、入居時に借家人賠償責任保険等の加入、退去時のクリーニング費用として、10,000円が必要です。

【施設】集会室、駐輪場

【設備】《個室》エアコン、光回線インターネット、TV端子、照明、机、椅子、ベッド、電気スタンド

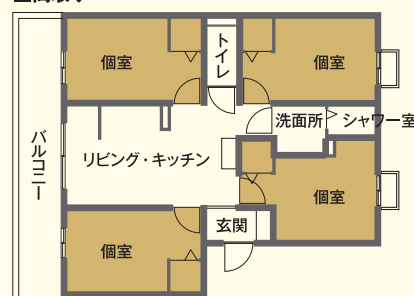
【セキュリティ対策】カードキー対応玄関ドア、暗証番号対応個室ドア

【共有スペース】シャワーブース、システムキッチン、ダイニングセット(テーブル、椅子)、冷蔵庫、電子オーブンレンジ、全自動洗濯機、衣類乾燥機等

【食事】食事の提供はありません。共同キッチンで自炊することができます。



■間取り



リビング・キッチン(共有スペース)。みんなで食事をとりながら団らんします。



個室。鍵もかけられるので、個人のプライバシーも確保されています。



集会室。プロジェクターが完備されていて、プレゼンの練習や勉強会もできます。



中庭。もちつき大会などのイベントを通して留学生や地域の方と交流します(写真は消防訓練)。

CHODAI(長大) LIFE

勉強はもちろんサークル活動や学内・地域イベントにも参加してキャンパスライフをより充実したものにしていきましょう。

4

April

入学式
新入生オリエンテーション
前期授業開始
新入生研修



入学式

5

May

開学記念日



長崎ハタ揚げ大会
稲佐山つつじまつり

6

June

あじさいまつり



あじさいまつり

7

July

オープンキャンパス
前期授業終了
前期定期試験



ながさきみなとまつり
長崎ベーロン選手権大会
祇園祭

8

August

夏季休業



長崎夜市
原爆の日
精霊流し

9

September

短期留学
海外インターンシップ
フィールドワーク実習
(海外/国内)



中国盆
長崎居留地まつり
孔子祭

学生生活紹介（宮野さんの1年次前期の1週間）

Weekly schedule

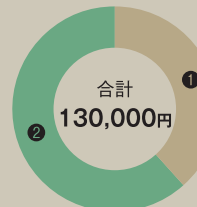
1年次前期の1週間の時間割

	月	火	水	木	金	土	日
1校時 (8:50~10:20)					国際公共政策入門 (政治)		
2校時 (10:30~12:00)		情報リテラシー 入門	Listening & Speaking I		多文化社会学の 諸問題		
3校時 (12:50~14:20)		中国語 I	病気を診る 病理学の魅力		オランダ・ヨーロッパ 研究入門		
4校時 (14:30~16:00)	Reading & Writing I	Listening & Speaking I	病気を診る 病理学の魅力	Reading & Writing I		休み	休み
5校時 (16:10~17:40)		初年次セミナー					
6校時 (17:50~19:20)		古文書の 勉強会					

学生の収支例

ここでは目安となる金額を挙げています。

支 出		収 入	
寮費	25,000円	①奨学金	50,000円
共益費	3,000円	②アルバイト	80,000円
光熱費	3,000円		
食費	20,000円		
交際費	10,000円		
雑費	10,000円		
合計	71,000円		



Student's Voice 学生の活動

原爆被爆者の体験記を朗読 事実を伝える大切さを実感

本城 舞 2年
オランダ特別コース

大分県立大分上野丘高等学校 出身

私は国立長崎原爆死没者追悼平和記念館で被爆体験記の朗読を行う「永遠(とわ)の会」に所属しています。毎月9日の11時2分に合わせて開催される朗読会の司会をしたり、実際に体験記を朗読したりしています。高校の放送部ではアナウンスに取り組み、全国大会にも出場。大学でもアナウンス部で活動しており、これまで培った読む技術を発揮できないかと思い参加しました。原爆や被爆体験について、長崎に来る前は教科書で学んだり親族から聞いたりした知識が中心でした。実際に被爆された方の体験を朗読し、長崎出身の高校生や大学生と関わっていく中で、より自分なりの視点で考えるようになったと思います。

アナウンスも朗読も発声・滑舌の技術は共通していますが、朗読は場面ごとに強弱をつけることが大切です。聞き手が情景を鮮明に想像できるような表現方法を意識しています。被爆という事実が記録されていても、それを伝える人と技術がなければ目に触れる機会が失われてしまいます。朗読を通して、今の世界と比較しながら当時のことを想像するきっかけを作りたいと思います。



「永遠の会」若手メンバーによる朗読会で被爆体験を朗読しました。これまで培ってきたアナウンスの技術を活かしています。

模擬裁判で海外大学と弁論 国際法から論理的に主張

菅原 温人 3年
国際公共政策コース

愛知県立豊田北高等学校 出身

高校時代に見た国際紛争に関するニュースがきっかけで法律に興味を持ち、グローバルな視点で国際法を学べる多文化社会学部を選択。国際人権論が専門の河村ゼミに所属して、2024年に広島で開催された第29回ステットソン国際環境法模擬裁判大会東アジア地区ラウンドに長崎大学チームとして出場しました。仮定の事案に対する主張を実際の国際法を参考にまとめ、英語で口頭弁論を行います。海外大学やロースクールも参加し、各チームが申立人・被申立人となって競い合います。私は事前の文書作成や当日の書記を担当。論理的な主張を英語で組み立てるのに苦労しましたが貴重な経験となりました。また同じ事案でもチームごとに着眼点や弁論のアプローチが異なり興味深かったです。

法律の知識はまだ勉強中ですが、多文化社会学部で普段から英語で考えて発言する習慣を身につけていたことが役立ちました。参考文献を調べる際にも、英語が使えることで選択肢が大きく広がります。英語開講科目も多く、興味のある分野を日本語・英語の両方で学べることで、こうした学外活動にも積極的に取り組める環境だと思います。



河村ゼミの学生が集まり長崎チームを結成。国内外から集まった代表者の英語での口頭弁論は、多くの学びがありました。

写真提供：©(一社)長崎県観光連盟

10
October

後期授業開始

11
November

学園祭
ホームカミングデー

12
December

冬季休業

1
January

新春もちつき大会

2
February

後期授業終了
後期定期試験
卒業論文発表会

3
March

短期留学
海外インターンシップ
春季休業
卒業式



長崎中華街中秋節
長崎くんち
YOSAKOIささげ祭り
ハロウィンパーティ



のもぎき水仙まつり



ランタンフェスティバル



令和8年度(2026年度)入試情報

求める学生像

- 専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の基礎的・基本的知識を有している。
- 英語を主とする外国語の運用能力の基礎が充実している。
- 世界規模の多種多様な考え方や価値観を尊重しつつ、それらについて批判的に思考できる基礎を有する。
- 世界の多文化状況を客観的に捉え、見出された課題の解決に向けて論理的に思考できる基礎を有する。
- 自らの考えを整理し、表現するライティング能力(文章力)を有する。
- 多様な人々と共生的な関係を築き、協働する為に必要なコミュニケーション能力・自己表現力の基礎を有する。
- 世界の多文化状況や異文化交流に興味・関心を持ち、グローバルな視点で自ら学ぼうとする意欲がある。

Visit our
website
for details



一般選抜

※詳細は、11月下旬頃発表予定の「令和8年度一般選抜学生募集要項」をご覧ください。

学力検査等の 区分・日程	コース名	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
		教科	科目名等
【前期】 2月25日 (水)	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	国 地歴 公民 数	【5教科5科目】 国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「地総/歴総/公」 「公、倫」、「公、政・経」 「数I」、「数I、数A」 「数II、数B、数C」
	オランダ特別コース	理 外 情	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 英、独、仏、中、韓から1 情報I

※「地理歴史、公民(以下、「地歴・公民」という。)」及び「理科」において2科目を選択する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」とする。
なお、上記のとおり、「地総/歴総/公」及び「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」については2つを選択解答するため、選択解答した2つを1科目として採用する。

総合型選抜Ⅰ

※詳細については、7月上旬頃発表予定の「令和8年度総合型選抜学生募集要項」をご覧ください。

試験日
(第2次選考日)

令和7年10月11日(土)

選抜方法等

自己推薦書、諸活動の記録、調査書等、個人面接及び筆記試験の結果を総合して合格者を決定します。

一般枠の出願には、TOEFL iBT(Home Editionを含む)61点以上、TOEFL ITP 500点以上、TOEIC L&R 730点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上、実用英語技能検定(英検、英検CBT又は英検S-CBT)準1級以上、IELTS 5.5以上、GTEC(4技能版)1140点以上、又はTEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を必要とする。
(注1)外国語検定試験は、令和5年9月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を令和5年9月以降に受験した試験とする。
(注2)外国語検定試験(TOEFL ITPを除く。)は公式スコア(TOEFL iBTはTest Date スコアに限る。)を対象とし、TOEIC IPは対象としない。
(注3)グローバル・国際バカロレア枠の出願要件については募集要項をご覧ください。

帰国生徒選抜

※詳細については、7月上旬頃発表予定の「令和8年度帰国生徒選抜学生募集要項」をご覧ください。

試験日

令和7年11月12日(水)

選抜方法等

提出された書類及び面接(日本語及び英語による)の成績の結果を総合して合格者を決定します。

出願には、TOEFL iBT(Home Editionを含む)75点以上、TOEIC L&R 750点以上、実用英語技能検定(英検、英検CBT又は英検S-CBT)準1級以上又はIELTS 6.0以上のいずれかのスコア・級を必要とする。
(注1)外国語検定試験は、令和5年11月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を令和5年11月以降に受験した試験とする。
(注2)外国語検定試験は公式スコア(TOEFL iBTはTest Date スコアに限る。)を対象とし、TOEFL ITP及びTOEIC IPは対象としない。

外国人留学生選抜

※詳細については、9月上旬頃発表予定の「令和8年度外国人留学生選抜学生募集要項」をご覧ください。

試験日

令和7年11月12日(水)

選抜方法等

「TOEFL等の成績」、「日本留学試験(日本語、総合科目及び数学コース1)」、「面接(日本語及び英語による)」の得点を総合して合格者を決定します。

出願には、TOEFL iBT(Home Editionを含む)61点以上、TOEIC L&R 730点以上又はIELTS 5.5以上のいずれかのスコアを必要とする。
(注1)外国語検定試験は、令和5年11月以降に受験した試験に限る。
(注2)外国語検定試験は公式スコア(TOEFL iBTはTest Date スコアに限る。)を対象とし、TOEFL ITP及びTOEIC IPは対象としない。

入学者選抜の基本方針

多文化社会学部の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎的・基本的知識と教育課程を通して育成される、論理的批判的思考力・判断力・表現力を評価します。また、入学後のカリキュラムを考慮して、選抜にあたっては英語を主とした外国語の運用能力と、多文化状況や異文化への興味・関心、学ぶことへの意欲も重視します。

募集人員

学部	学科等	入学定員	募集人員						
			一般選抜	総合型選抜I		学校推薦型選抜II	外国人留学生選抜	帰国生徒選抜	合計
			前期日程	一般枠	グローバル・国際バカロレア枠				
多文化社会学部	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース オランダ特別コース	100	72	6*	1*	15	若干人	若干人	94
			3	3			若干人	若干人	6
	計	100	75	9	1	15	若干人	若干人	100

※一般枠、グローバル・国際バカロレア枠のいずれかの枠の合格者数が募集人員に満たない場合は、その不足した人員をもう一方の枠の募集人員に加えて、最終的に各枠の合格者を決定する。

個別学力検査等

大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等

教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接又は ペーパー・ インタビュー	調査書	配点合計
外	英語コミュニケーションI, 英語コミュニケーションII, 英語コミュニケーションIII, 論理・表現I,論理・表現II, 論理・表現III	共通テスト	100	*50		*50		200	20				420
その他	小論文 ペーパー,インタビュー	個別学力検査等						200		200	30	30	460
		計	100	*50		*50		400	20	200	30	30	880
外	英語コミュニケーションI, 英語コミュニケーションII, 英語コミュニケーションIII, 論理・表現I,論理・表現II, 論理・表現III	共通テスト	100	*50		*50		200	20				420
その他	小論文 面接	個別学力検査等						200		200	30	30	460
		計	100	*50		*50		400	20	200	30	30	880

(注1) 地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。

(注2) 数学及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。ただし、理科については第2解答科目は採用しない。

学校推薦型選抜II

※詳細については、9月上旬頃発表予定の「令和8年度学校推薦型選抜学生募集要項」をご覧ください。

試験日

令和7年11月29日(土)

選抜方法等

高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、
大学入学共通テストの成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定します。

コース名	大学入学共通テスト指定教科・科目	
	教科等	科目名等
国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 「地総,地探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地総/歴総/公」から1(注1) 「公,倫」,「公,政・経」から1(注1) 「数I」,「数I,数A」,「数学II,数学B,数学C」から1(注2) 「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」,「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から1(注3) 英,独,仏,中,韓から1 情報I [6教科6科目]

※「地総/歴総/公」及び「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」については2つを選択解答するため、選択解答した2つを1科目として採用する。

(注1) 地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。

(注2) 数学を2科目受験している場合は、高得点科目を採用する。

(注3) 理科を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。

令和8年度(2026年度)
入試については長崎大学
入試情報サイトをご覧ください。



大学入学共通テスト・学力検査等の配点等

試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	個人面接	志望理由書	調査書	推薦書	配点合計
共通テスト	80	*40		40	40	80	10					290
学力検査等								170	30	(注1)	(注1)	200
計	80	*40		40	40	80	10	170	30			490

※配点に*印を付してある教科は選択科目を表す。

(注1) 調査書と推薦書については、面接の中で評価をおこなう。

長崎大学文教キャンパスへのアクセス



長崎大学
多文化社会学部
スマホサイトへ



JRをご利用の場合

JR長崎本線「浦上駅」下車、その後、以下の路面電車もしくはバス利用

■浦上駅から路面電車をご利用の場合

「浦上駅前」から「赤迫(あかさこ)」行き乗車
「長崎大学」で下車(所要時間 / 約10分)

■浦上駅からバスをご利用の場合

「浦上駅前」から長崎バス1番系統「溝川」・「上床」・「上横尾」行き乗車
「長崎大学前」で下車(所要時間 / 約10分)



高速バスをご利用の場合

各地より浦上經由長崎方面行きバスに乗車し、「昭和町」で下車、その後、徒歩で長崎大学東門まで約15分あるいは長崎大学正門まで約20分



航空機をご利用の場合

長崎空港(大村市)4番乗り場から空港リムジンバス乗車

■長崎県営バス「昭和町・浦上経由」行き乗車

「長大東門前(ちょうだいひがしもんまえ)」で下車(所要時間 / 約40分)

多文化社会学部
公式
X(エックス)



多文化社会学部
公式
YouTube



多文化社会学部
公式
インスタグラム



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

人文社会科学域事務部多文化・教育学事務課 学務第一係(多文化社会学部)
〒852-8521 長崎県長崎市文政町1-14 TEL.095-819-2030
E-mail:hss_gakumu@ml.nagasaki-u.ac.jp <https://www.hss.nagasaki-u.ac.jp>

2025年7月発行